

令和3年
3月号

コミュ・パル～地域の仲間～

発行：新田地区コミュニティ推進協議会 住所：迫町新田字小友65
TEL：(0220)-28-2037 FAX：(0220)-28-2110

新田地区 地域づくりアンケート結果報告～地域での不安や悩み要望～

10月に実施した結果、新田地区に暮らす皆様からたくさんのご意見ありがとうございました。アンケート結果から「アンケート結果から見えてきたテーマと要望」を最後にまとめさせていただきました。自由記載欄にも様々な意見や要望を書いて頂きました。アンケート結果を基に、すぐ着手できる内容については対応し、難しい内容については話し合いを重ね改善できるよう努めていきたいと思っております。

調査目的

新田地区で暮らしている中で、地域住民がどのような「不安」「悩み」「要望」があるか把握するとともに、それらの問題を解決のために検討し実行に移す組織づくりを目的としている。

調査対象

新田地区在住の15才以上の方 1,034件（毎戸配布）

調査方法

毎戸による配布・郵送による回収

調査期間

令和2年10月1日配布、10月15日を返信期限として回収

回収状況

回収数 534件 回収率 **51.6%**

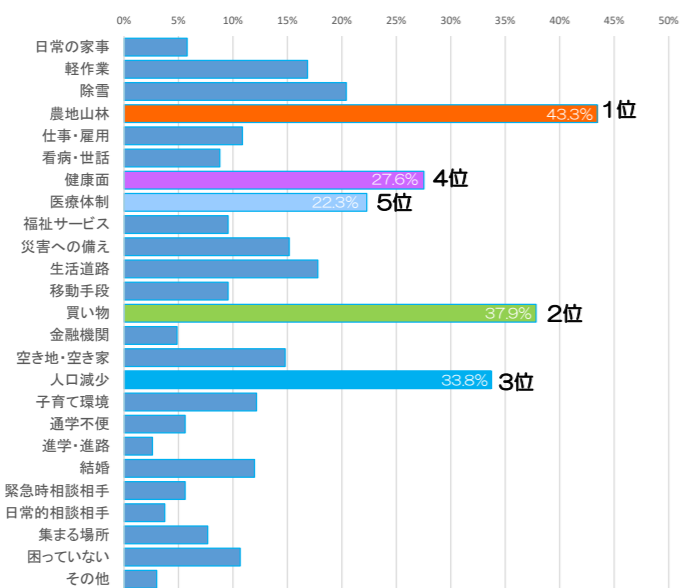
半数の回収率！
地域住民の意向が反映されているデータ結果となりました。



回答者の地区と回収率

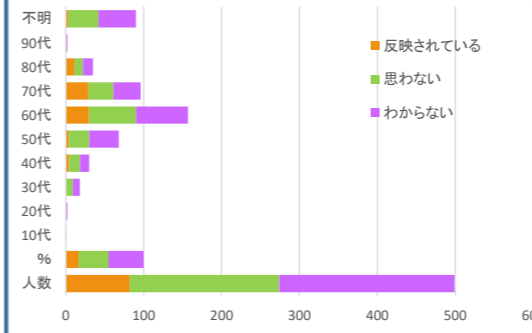
	人数	%	坂戸	新田駅前	倉崎	山の神	大形	小友	茂栗	品の浦	菱の倉	大浦	板橋	駒林	立戸	無回答
男性	274	51.3	15	36	13	15	23	27	24	25	5	25	28	16	18	4
女性	151	28.3	14	21	10	5	12	24	12	12	7	11	10	5	5	3
性別不明	109	20.4	8	15	9	9	5	10	8	5	3	6	9	8	10	4
合計	534	100.0	37	72	32	29	40	61	44	42	15	42	47	29	33	11
回収率			38.9	45.6	58.2	49.2	70.2	55.5	52.4	51.2	45.5	63.6	49.5	39.7	49.3	

暮らしの中の困りごと（まとめ）



- 第1位 農地、山林の維持管理 43.3%**
60代・70代でトップ（30代・40代・50代の世代で2位が上がっている）
30代～70代まで困りごとの上位にランクイン。
→所有している土地の山林や草刈り問題や維持管理について今後に不安を持っている。
- 第2位 コンビニ、商店が少なく、日常の買い物に関すること 37.8%**
全世帯上位にランクイン。→若い世代や運転免許を返納した高齢者からが多い。
- 第3位 人口減少に関すること 33.8%**
30代でトップ（50代・60代・70代の世代で2位・3位が上がっている）
→少子高齢化の問題。小学校や中学校が無くなるのが心配。
- 第4位 健康面に関すること 27.6%**
30代・60代・70代・80代の世代で3位・4位にランクイン。
→家にいる時間が増えることにより体を動かすことが減ってしまう。
- 第5位 医師や診療科目などの、医療体制に関すること 22.3%**
30代・40代・50代・60代・90代の世代で4位・5位にランクイン。
→緊急の場合、病院までが遠い。

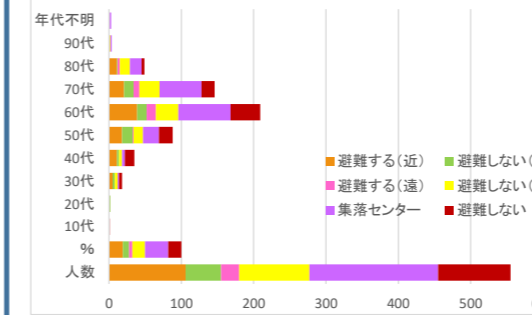
地域や集落で女性・若者の声は反映されていますか？



	%	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	不明
反映されている	16.4	0	0	0	4	4	30	29	11	1	3
思わない	38.5	0	1	9	14	26	60	32	11	0	39
わからない	45.1	1	1	9	12	38	67	35	13	1	48
合計	100.0	1	2	18	30	68	157	96	35	2	90

若者の声が反映されていないに38%
判らないに45%
若者が意見を言える場が少ないことや、機会があっても年上の声に埋もれてしまうため「わからない」「思わない」の数が多く上がっている。
改善策として若い世代が集まりやすい環境づくりが重要となってきている。

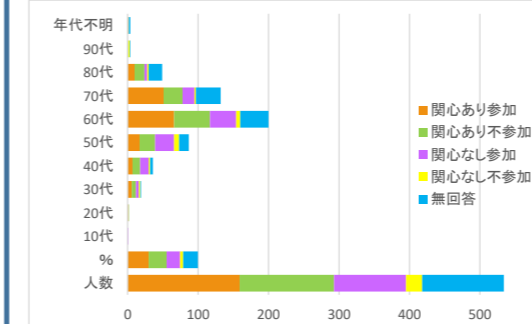
新田公民館（避難所）に避難するかについて



	%	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	年代不明
避難する(近)	19.1	0	1	5	11	18	39	21	11	0	0
避難しない(近)	8.8	0	1	3	3	15	13	13	1	0	0
避難する(遠)	4.5	0	0	0	0	1	13	8	3	0	0
避難しない(遠)	17.5	0	0	4	4	13	31	28	14	2	1
集落センター	32.1	0	0	2	4	22	72	58	16	2	2
避難しない	18.0	1	0	4	13	19	41	18	4	0	0
合計	100.0	1	2	18	35	88	209	146	49	4	3

「避難する」は19%と低い結果となった。
その理由として、各行政区にて避難訓練などの事業を行っているため、各行政区のセンターを避難所と設定しているため、センターへの避難との回答が多い。
災害の状況に応じて避難を考える。との回答も見られた。

地域活動への関心について



	%	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	年代不明
関心あり参加	30.0	0	1	6	7	17	66	51	10	0	1
関心あり不参加	25.3	0	1	6	11	22	51	27	14	1	1
関心なし参加	19.2	1	0	4	12	27	37	17	4	0	0
関心なし不参加	4.3	0	0	2	2	7	6	2	2	0	
無回答	21.1	0	0	1	4	14	40	35	19	1	2
合計	99.9	1	2	19	36	87	200	132	49	4	4

「関心があり参加」が30%「関心あり不参加」が25.3%と続いており、特に関心あり不参加の中に「参加したいが平日参加が難しい」「時間に余裕がない」という理由が上がっている。

必ずしも「地域活動に参加していない＝関心が無い」という訳ではない
「関心があっても参加していない」割合が高い世代には、その理由を探ることが大切！

★アンケート内容から見えてきたテーマと要望★

- ①環境整備対策**
 - 高齢化により草刈りや山林の維持管理が難しくなってきているため。
 - 暗い箇所や草、山林が荒れることによりゴミのポイ捨てや山への不法投棄を増やす要因になるため。
 - 危険箇所の対策（街灯、冬季路面凍結、見通し、等）
- ②高齢化による「孤独感」「閉塞感」を減らす対策**
 - 車の免許返納により自由に行動が出来ず、出不精になりがちになってしまうため。
 - 集まりの場所まで遠く、歩きでは時間もかかり体力的に厳しい。
*上記のことから家に引きこもることも多く、人との関りが薄れてしまう。
- ③若い世代・子育て世代の環境づくり対策**
 - 若い世代や子育て世代が参加しやすい事業・講座など話し合いの場を設けることの検討。
 - 若い世代の事業が欲しいと要望あり。
- ④地域と住民の役割づくり対策**
 - 働き世代より、家・仕事に加え地域での役割もあり負担が大きい。若い世代への負担増。
 - 各行政区での役割の見直しが求められている。
- ⑤地域の魅力活用対策**
 - 新田地区の景観自然を生かす
 - 史跡や神社仏閣など歴史を生かす
 - 魅力を見つけその発信



住み続けてもらう

地域に愛着をもって興味をもってもらう